

英数字および記号に関しては、必ず半角で記載すること

2016年 8月 2日

環境省  
地球温暖化対策課長 殿

押印済のPDFと押印前のデータ入力済のExcel双方を送付する

代表権を有する者(主に代表取締役)の名前及び押印

〒100-6390 東京都千代田区丸の内2-4-1  
デロイト株式会社  
代表取締役社長 等松太郎

デロイト  
株式会社  
代表取締役  
社長  
等松太郎

2016年度夏L2-Tech認証 申請書

2016年度夏L2-Tech認証実施要領に基づき、様式2および別紙に記載の通り、申請いたします。

担当者が在籍する住所を記載  
(後日、書類をお送りする際に使用します)

申請団体名	デロイト株式会社
住所	〒100-6390 東京都千代田区丸の内2-4-1
担当所属・氏名	パブリックセクター・丸の内太郎
連絡先	TEL: 03-****-****
	FAX: 03-****-****
	E-mail: ****.co.jp

【提出先・お問合せ先】

デロイトトーマツ コンサルティング合同会社  
パブリックセクター(担当:村上・芳野・伊原・石津)  
「平成28年度L2-Tech認証制度 事務局」  
〒100-6390 東京都千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング  
TEL: 03-6867-8916 E-mail: l2-tech@tohmatu.co.jp

様式1\_作成ガイド(簡易申請)

英数字および記号に関しては、必ず半角で記載すること

2016年 8月 2日

環境省  
地球温暖化対策課長 殿

押印済のPDFと押印前のデータ入  
力済のExcel双方を送付する

代表権を有する者(主  
に代表取締役)の名称  
及び押印

京都千代田区丸の内2-4-1  
デロイト株式会社  
代表取締役社長 等松太郎

デロイト  
株式会社  
代表取締役  
社長  
等松太郎

2016年度夏L2-Tech認証 申請書

2016年度夏L2-Tech認証実施要領に基づき、  
様式2および別紙に記載の通り、申請いたします。

申請に当たっては、簡易申請対象製品が募集対象要件を  
満たしている事を誓約いたします。

担当者在籍する住所を記載  
(後日、書類をお送りする際に  
使用します)

申請団体名	デロイト株式会社
住所	〒100-6390 東京都千代田区丸の内2-4-1
担当所属・氏名	パブリックセクター・丸の内太郎
連絡先	TEL: 03-****-****
	FAX: 03-****-****
	E-mail: ****.co.jp

【提出先・お問合せ先】

デロイトトーマツ コンサルティング 合同会社  
パブリックセクター(担当: 村上・芳野・伊原・石津)  
「平成28年度L2-Tech認証制度 事務局」  
〒100-6390 東京都千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング  
TEL: 03-6867-8916 E-mail: l2-tech@tohmatu.co.jp

様式2\_作成ガイド

英数字および記号に関しては、必ず半角で記載すること

「派生型番」は、クラス・性能値が既出の型番(親)と一致するものを指し、型番(親/派生)にて派生を選択した場合は別紙2にて派生証明を記載・提示すること

商品化と性能値を同一の書類で証明可能な際は、提出ファイルのタイトルを「商用1\_性能1」と記載する事(ファイルNo.が1の場合)

問合せ先を空欄で提出する場合は、「J」(ハイフン)を記入すること

L2-Tech水準表の情報				申請情報										概要説明					問合せ先			
設備・機器等 No.	設備・機器等の名称	L2-Tech水準		No.	団体名	製品名	型番	親・派生	申請方法	商用化		性能		性能確認資料			製品の特徴	部署	担当者	問合せ先		
		条件	能力							商用化確認資料 ファイルNo.	商用化確認資料 URL	値・機能	性能確認資料 ファイルNo.	性能確認資料 URL	原理・しくみ確認 資料ファイルNo.	原理・しくみ確認 資料URL				原理・しくみ確認 資料URL	E-mail	URL
2016年度夏版 L2-Tech 水準表参照	2016年度夏版 L2-Tech 水準表参照	2016年度夏版 L2-Tech 水準表参照	2016年度夏版 L2-Tech 水準表参照	1から通して 記入	社名等 (部署までは不要)	製品の名称	商用化確認資料 及び性能確認資料 記載のもの	親型番・親 派生型番・派生	通常申請/ 簡易申請	商用化確認資料 ファイルNo.	商用化確認資料 URL	値・機能 記載のもの	性能確認資料 ファイルNo.	性能確認資料 URL	原理・しくみ確認 資料ファイルNo.	原理・しくみ確認 資料URL	製品の特徴	認証後に公表 される連絡先	認証後に公表 される連絡先	認証後に公表 される連絡先	認証後に公表 される連絡先	認証後に公表 される連絡先
A-01-001	ガスヒートポンプ	寒冷地仕様	10HP超16HP 以下	1	デロイト株式会社	ガスヒートポンプエ アコンαシリーズ	A-450α	親	通常	-	-	1.44	1	http://www.***	1	http://www.***	室外機の圧縮機をガスエンジンで駆動し、ヒートポンプ運転によって冷暖房を行う空調システムであり、本製品は***により、環境負荷の削減を実現している。	パブリックセクター	カスタマーサポート	03-****-****	****.co.jp	http://www.***
A-01-001	ガスヒートポンプ	寒冷地仕様	10HP超16HP 以下	2	デロイト株式会社	ガスヒートポンプエ アコンαシリーズ	A-450β	派生	通常	-	-	1.44	-	-	-	-	室外機の圧縮機をガスエンジンで駆動し、ヒートポンプ運転によって冷暖房を行う空調システムであり、本製品は***により、環境負荷の削減を実現している。	パブリックセクター	カスタマーサポート	03-****-****	****.co.jp	http://www.***
A-01-001	ガスヒートポンプ	2016年度夏 L2-Tech認証 申請書	10HP超16HP 以下	3	デロイト株式会社	ガスヒートポンプエ アコンαシリーズ	A-450γ	派生	通常	-	-	1.44	-	-	-	-	室外機の圧縮機をガスエンジンで駆動し、ヒートポンプ運転によって冷暖房を行う空調システムであり、本製品は***により、環境負荷の削減を実現している。	パブリックセクター	カスタマーサポート	03-****-****	****.co.jp	http://www.***
A-01-001	ガスヒートポンプ	-	7.5HP超10 以下	-	-	-	A-28000	親	通常	1	http://www.***	1.59	1	http://www.***	1	http://www.***	未記載の場合は、公表ページの製品特徴欄は空欄になる	パブリックセクター	カスタマーサポート	03-****-****	****.co.jp	http://www.***
A-01-001	ガスヒートポンプ	-	7.5HP超10HP 以下	5	デロイト株式会社	ガスヒートポンプエ アコンαシリーズ	A-28001~ A-28999 (計999型番)	派生	通常	-	-	1.59	-	-	-	-	電動圧縮機を用いたヒートポンプ方式の空調システムで、業務用に用いるものであり、本製品は***により、環境不可能削減を	パブリックセクター	カスタマーサポート	03-****-****	****.co.jp	http://www.***
A-01-002	パッケージエアコン (店舗・オフィス用)	-	4.0kW以下	6	デロイト株式会社	店舗・オフィス用エ アコンαシリーズ	TO-01A-B	親	通常	2	http://www.***	7.1	2	http://www.***	2	http://www.***	電動圧縮機を用いたヒートポンプ方式の空調システムで、業務用に用いるものであり、本製品は***により、環境不可能削減を	パブリックセクター	新東京太郎	03-****-****	****.co.jp	http://www.***
A-04-007	吸着式冷凍機	熱源水温 58℃	一度様式2を提出した際に記載した型番にミスがあったなどの理由で、再度様式2を提出し直す際は下記対応を行うこと ①新規に型番を追加する場合:列を追加した上で列ごと黄色に塗る ②既に記載している型番のうち一部の情報を修正する場合:修正したセルのみ黄色に塗る ③記載済みの型番そのものを削除する場合:削除したい型番の列ごとグレーに塗る(列をエクセルのNoを選択)	11	-	-	-	親	簡易	-	-	-	-	-	-	-	簡易申請の場合基本的に入力不要(申請方法で「簡易」を選択すると、「商用化」から「問合せ先」までが全てグレーアウトされる)ただし、問合せ先に変更がある場合は記入すること	丸の内太郎	前回認証時から変更がある場合のみ記入	-	-	-

2016年 8月 2日

環境省  
地球温暖化対策課長 殿

記入欄は必要に応じて  
追加してください

### 2016年度夏L2-Tech認証 申請内容に関する誓約書

下記の通り誓約いたします。

#### ■商用化状況

以下の型番については、販売 2016年度夏L2-Tech認証 申請書

型番	
A-450 $\alpha$	商用化確認資料がない場合に記入

#### ■評価方法(計算方法)

以下の型番については、下表の規格に準じた計算方法に従って性能を算出しています。

型番	規格
A-450 $\alpha$ 、A-280 $\alpha$	JISB8627:2015
A-B(C)-001	標準条件
	規格は年度まで正確に記入する
	性能確認資料にL2-Tech水準表と同一の計算方法が記載されていない(年度も含む)場合に記入

#### ■評価方法(試験方法)

以下の型番については、下表の規格に準じた試験条件に従って性能を算出しています。

型番	規格
A-450 $\alpha$ 、A-280 $\alpha$	JISB8627:2015
A-B(C)-001	標準条件
	規格は年度まで正確に記入する
	性能確認資料にL2-Tech水準表と同一の試験条件が記載されていない(年度も含む)場合に記入

※派生型番に関しては記入不要(親型番の誓約のみでよい)



商用化確認資料\_作成ガイド

		αシリーズ			
		タイプ			
相	標準仕様	28.0	45.0	71.0	85.0
	塩害仕様	25	25	25	30
特別仕様	標準仕様	A-280 α	A-450 α	A-710 α	A-850 α
	塩害仕様	A-280 β	A-450 β	A-710 β	A-850 β
特別仕様	標準仕様	A-280 γ	A-450 γ	A-710 γ	A-850 γ
	塩害仕様	A-280 δ	A-450 δ	A-710 δ	A-850 δ
冷房能力 (kW)		28.0	45.0	71.0	85.0
暖房能力 (kW)		31.5	50.0	80.0	95.0
APFp 期間成績係数		1.59	1.87	2.08	2.01
法定冷凍トン (RT)		3.15	4.86	7.25	9.56

マークは蛍光ペン等、手書き可

提出ができない場合、別紙1にて商用化確認を行う必要あり

該当する型番にマーク  
(様式2に記載されている型番と完全に一致しない場合、商用化確認資料として認められない)

ひとつの資料で複数の型番の商用化確認資料として使用する場合は、該当の型番全てにマークをする

(注1) 上記の試験はJISB8627:2015条件にて運転したものです  
(注2) APFpはJISB8627:2015条件により算出された値です



マークは蛍光ペン等、手書き可

# αシリーズ

		タイプ			
容量	280	450	710	850	
相当馬力	<u>10</u>				30
標準仕様	<u>A-280α</u>	A-450α	A-710α	A-850α	
塩害仕様	A-280β	A-450β	<u>A-710β</u>	<u>A-850β</u>	
特別仕様	A-280γ	A-450γ	A-710γ	A-850γ	
冷房能力 (kW)	28.0	45.0	71.0	85.0	
暖房能力 (kW)	31.5	50.0	80.0	95.0	
APFp 期間成績係数	<u>1.59</u>	1.87	<u>2.08</u>	<u>2.01</u>	
法定冷凍トン (RT)	3.15	4.86	7.25	9.56	

該当のクラスにマーク

該当する型番にマーク  
(様式2に記載されている型番と完全に一致しない場合、商用化確認資料として認められない)

ひとつの資料で複数の型番の商用化および性能の確認資料として使用する場合は、対象の型番・性能全てにマークをする(ただし、型番と性能の紐づけがわかるように記載する(様式2の通し番号もしくは型番を性能付近に記載する等))

該当の性能にマーク

該当の計算・試験条件にマーク  
※L2-Tech水準表と同一の条件が記載されていない場合(年度も含む)、別紙1にて誓約を行う必要あり

(注1) 上記の試験はJISB8627:2015条件にて運転したものです  
(注2) APFpはJISB8627:2015条件により算出された値です



マークは蛍光ペン等、  
手書き可

2016年5月1日

デロイトトーマツ  
コンサルティング合同会社

品質管理課 課長  
丸ノ内太郎

## 2016年度夏L2-Tech認証 申請書

品質管理担当者等  
の名前または押印

試験日	2016年5月16日
製品名	αシリーズ
型番	<b>A-PR100</b>

該当する型番にマーク  
(様式2に記載されている型番と完全に一致しない場合、商用化確認資料として認められない)

試験項目	単位	設計仕様	測定値	適用規格
冷水入口温度	°C	15.0	15.1	<b>JISB8622 :2009</b>
冷水出口温度	°C	7.0	7.2	
冷水流量	L/min	630	631	
冷水圧力損失	kPa	60.0	60.2	
冷却水入口温度	°C	32.0	32	
冷却水出口温度	°C	40.0	40.1	
冷却水流量	L/min	1,080	1,079	
冷却水圧力損失	kPa	60.0	59.9	
加熱源消費量	kW	270	270	
冷凍能力	kW	352	<b>352 (100RT)</b>	
COP成績係数	-	1.36	<b>1.36</b>	

該当のクラスが  
分かる箇所に  
マーク  
※単位はL2-Tech  
水準表に揃えた  
ものを記載

該当の  
性能にマーク

該当の計算・試験条件が分  
かる箇所にマーク  
※L2-Tech水準表と同一の条  
件が記載されていない場合  
(年度も含む)、別紙1にて誓  
約を行う必要あり

※COPの算出方法は、JISB8622:2009による



## αシリーズ

マークは蛍光ペン  
等、手書き可

シリーズ史上最高の  
環境性能・低環境負荷

## αシリーズ

原理・しくみの説明  
部分にマーク

αシリーズとは、、、  
室外機の圧縮機をガスエンジンで駆動し、ヒートポンプ運転によって冷暖房を行う空調システムであり、中でも本製品はシリーズ最高水準の環境性能・低環境負荷を実現した、次世代型のガスヒートポンプである

# GHP

